



野火止用水沿いの散策路・野火止緑道  
(2014年 6 月 橋爪孝介 撮影)

## 地理空間学会ニューズレター

### TOPICS

- ・第7回大会のお知らせ(第3報)
- ・第7回大会巡検のご案内(第2報)
- ・学会賞受賞者コメント(平岡昭利)
- ・学会からのお知らせ
- ・コラム「学会会場のまち・新座市」(橋爪孝介)

JAGS

## 第7回大会のお知らせ(第3報)

地理空間学会では、第7回大会を下記の通り開催いたします。

### 【日 程】

2014年6月28日(土): シンポジウム, 研究発表, 評議員会, 総会, 懇親会

6月29日(日): 巡検(川越市)

### 【会 場】

立教大学 新座キャンパス(埼玉県新座市北野 1-2-26)

○シンポジウム, 研究発表, 評議員会, 総会; 6号館3階

○懇親会; 太刀川記念交流会館

### 【交 通】

○JR 武蔵野線新座駅南口より, 1番乗り場から西武バスまたは3番乗り場からスクールバス(無料)に乗り, 「立教前」下車, 約10分。

○東武東上線志木駅南口より, 2番乗り場から西武バスに乗り, 「立教前」下車, 約10分。

※志木駅からもスクールバス(無料)は運行されていますが, 大会当日の午前中はダイヤの設定がございませんので, ご注意ください。

(参考ウェブサイト)

<http://www.rikkyo.ac.jp/access/niiza/direction/>



### 【費 用】

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 大会参加費 | 会員(一般): 500円       |
|       | 会員(学生・院生): 無料      |
|       | 非会員: 1,000円        |
| 懇親会費  | 会員(一般)・非会員: 5,000円 |
|       | 会員(学生・院生): 3,000円  |

|                                   |                                         |
|-----------------------------------|-----------------------------------------|
| 巡検費 1,000 円程度（バス代・入場料・保険料込、昼食代別）  | ズム」                                     |
| ※別途、今年度の年会費の支払いをお願いします。           | 12：10～13：30 昼休み（12：20～13：20 評議員会）       |
| 年会費 一般会員 4,000 円 院生会員 2,000 円     | 13：30～14：50 口頭発表（第 1 部）                 |
| 学生会員 1,000 円                      | 14：50～15：30 ポスター発表コアタイム（優秀賞投票 15:30 締切） |
| 【プログラム】6 月 28 日（土）                | 15：35～16：55 口頭発表（第 2 部）                 |
| 9：30 受付開始、ポスター掲示開始                | 17：00～18：00 総会・表彰式                      |
| 10：00～12：10 シンポジウム「ヨーロッパの山地ツーリズム」 | 18：30～ 懇親会                              |

---

## 【シンポジウム】

### 「ヨーロッパの山地ツーリズム」

|                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| ○趣旨                                                                                                                                                                                                                               | 10：05～10：30 市川康夫（筑波大）：19 世紀英国紀行文とフランス山村のツーリズム―「ステューブンソンの道」を事例に― |
| 洋の東西を問わず、また時代を問わず、山地は人びとのツーリズム行動の重要な目的地になってきた。中世、ヨーロッパの山地への人びとの訪問動機は巡礼や温泉での療養であった。グランドツアー誕生以後、山地への訪問動機は非常に多様化し、目的地の様相も大きく変化している。本シンポジウムでは、フランス山地、スイスアルプスおよびオーストリアアルプスという 3 つの地域における様々なツーリズム形態に関する報告に基づいて、ヨーロッパにおける山地ツーリズムの性格を考える。 | 10：30～10：55 呉羽正昭（筑波大）：オーストリアアルプスにおけるスキーリゾートの継続的發展               |
| ○プログラム                                                                                                                                                                                                                            | 10：55～11：20 池永正人（長崎国際大）：スイスアルプスの自然環境保全と多様なアクティビティ               |
| 10：00～10：05 趣旨説明                                                                                                                                                                                                                  | 11：20～11：30 松村公明（立教大）：コメント                                      |
|                                                                                                                                                                                                                                   | 11：30～11：40 休憩                                                  |
|                                                                                                                                                                                                                                   | 11：40～12：10 総合討論                                                |

---

## 【口頭発表】

|                                                              |                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○第 1 部                                                       | 14：30～14：50 丸山宗志（立教大・院）・松村公明（立教大）・大塚直樹（亜細亜大）：都市機能の変遷からみた旧サイゴン中心部の空間的特徴―フランス統治期の旧版地図を手がかりに― |
| 13：30～13：50 清水克志（秀明大）：教員養成課程における新旧地形図を活用した教育実践とその効果          | ○第 2 部                                                                                     |
| 13：50～14：10 渡邊瑛季（筑波大・院）：スピードスケート競技環境の空間的再編とその課題―長野県佐久地域を事例に― | 15：35～15：55 鈴木富之（名桜大）：首都圏外縁部におけるペンション集積地域の形成要因                                             |
| 14：10～14：30 矢ヶ崎太洋（筑波大・院）・吉次 翼（慶應大）：東日本大震災を契機とした陸前高田市の都市構造の変容 | 15：55～16：15 堀本雅章（法政大沖縄文化研）：「瑠璃の島」放映後の沖縄県竹富町鳩間島にお                                           |

#### ける観光地化とその特色

16:15~16:35 児玉恵理（筑波大・院）：埼玉県の前野  
野菜の地域ブランド化と個人ブラン

#### ド化の研究

16:35~16:55 白坂 蕃（東京学芸大・名誉）：中国雲  
南省北部におけるチベット族の移牧

#### 【ポスター発表一覧】 コアタイム 14:50~15:30

本多広樹（筑波大・院）：群馬県前橋市における一般廃棄  
物処理の空間構造

橋爪孝介（筑波大・院）：伊勢市における鳥居前町の景観  
変化—土地利用からみた式年遷宮の影響—

阿部依子（筑波大・院）：岡山県真鍋島における小中学生  
をとりまく教育環境の変遷と現状

清水克志（秀明大）：宮城県浦戸諸島におけるハクサイ採  
種業の歴史と現状

渡辺亮佑（筑波大・院）：徳島県海部郡美波町における漁  
村留学制度を通じた地域構造の変容

奥 啓彰（筑波大・院）：東武鉄道東上本線におけるダイ  
ヤの展開

吉次 翼（慶應大）・矢ヶ崎太洋（筑波大・院）・大江守之  
（慶應大）・一ノ瀬友博（慶應大）：東日本大震災を契機

とした住宅再建・集団移転事業の現状と課題—宮城県  
沿岸15自治体を対象として—

浅野元紀（筑波大・院）：女川町における仮設商店街「き  
ぼうのかね商店街」の役割と課題

川口志のぶ（筑波大・院）：新宿駅周辺におけるネイルサ  
ロンの立地特性—路線価格を用いた店舗立地の分析を  
通じて—

杉本興運（学振PD・筑波大）・村山祐司（筑波大）：「人の  
流れデータ」による東京都市圏の観光行動分析

## 第7回大会巡検のご案内（第2報）

6月29日（日）に大会巡検がございます（雨天決行）。本巡検は川越市にお詳しい溝尾良隆先生（帝京大）のご助力を得て実施いたします。

#### 【巡検テーマ】

「小江戸・川越の地域変容  
—過去・現在から将来を考える—」

#### 【オーガナイザー】

石坂 愛・金 延景・児玉恵理・橋爪孝介・渡邊瑛季  
（筑波大・院）

#### 【集合場所・時刻】

9:30 東武東上線川越駅改札前

#### 【解散場所・時刻】

16:00 川越一番街（予定）

※本巡検では東武バスウエストの「小江戸川越一日フリー乗車券」を購入しますので、こちらを利用して川越一番街から西武新宿線本川越駅、東武東上線・JR川越線川越駅、東武東上線川越市駅まで行くことができます。



川越城中ノ門堀跡

（2014年4月 橋爪孝介 撮影）

#### 【参加費】

1,000円程度（入場料・バス代・保険料込、昼食代別）

※参加費は28日（土）の大会受付にてお支払いください。巡検のみ参加される方は、当日お支払いください。

## 【行 程】

### ○午前

川越駅（西口駅前広場，東口区画整理事業）⇒クレアモール，丸広百貨店⇒本川越駅⇒川越小江戸蔵里⇒中院，仙波東照宮，喜多院⇒（バス移動）⇒川越城本丸御殿，川越市立博物館⇒川越城中ノ門堀跡⇒川越氷川神社⇒川越市役所

### ○昼食

13:00 に一度解散し，各自で昼食をとっていただくことにいたします。希望される方には国の登録有形文化財のモダンな建築が特徴のレストラン・太陽軒（川越市元町1-1-23，<http://www.kawagoe.com/taiyoken/>）でのお食事をご用意いたしております。1人2,250円（税込）です。太陽軒での昼食をご希望の方は参加申し込み時にお知らせください。

### ○午後

菓子屋横丁⇒川越一番街，蔵造り資料館（16:00 川越一番街で解散予定）

※巡検の参加には事前の申し込みが必要です。

巡検参加ご希望の方は，電子メールにて，件名に【巡検申し込み】を，本文に参加者（全員分）の氏名，所属，当日連絡可能な連絡先（携帯電話番号など），太陽軒での昼食の有無を明記の上，石坂 ([iszk.tkb@gmail.com](mailto:iszk.tkb@gmail.com)) までご連絡ください。

※巡検申し込みの連絡先が6月以降上記のアドレスに変更となりました。ご注意ください。

締め切りは6月17日（火）とさせていただきます。なお，誠に勝手ではございますが，巡検行程や巡検の形式上，定員を25名とさせていただきます。また，締切以前でも定員に達し次第，受付を締め切らせていただくこともありますので，ご容赦ください。

## 学会賞受賞者コメント

この度，地理空間学会2013年度（第6回）学会賞の学術賞を受賞された平岡昭利会員から受賞のコメントをいただきました。

### 学術賞 平岡昭利会員（下関市立大） 「学会賞受賞の本刊行の顛末」

今回受賞しました『アホウドリと「帝国」日本の拡大』（2012年 明石書店）の刊行にあたっては，地理空間学会の創設と深くかかわっており，出版界の裏事情と合わせて刊行の顛末を振り返ってみたい。

それは2007年秋の夕方のことであった。熊本大学で日本地理学会秋季大会が開催され，離島研究のシンポジウムも盛會に終わり，帰宅しようとバスに乗ったら，偶然，山下清海先生と出くわした。

そのまま居酒屋へ直行となり，たわいもない雑談をしていたら，「近く新しい学会を立ち上げる」という話を伺った。「そうですか」と言ったが，その後がまずかった。学

会の設立に合わせて，創刊号を出すから「何か書いてほしい」と言われた。これには参り，「他に優れた研究者がいっぱいいる」と逃げの一手で乗り切ろうとしたが，結局，押し切られ執筆する羽目になった。

半年余りで書いたのが，翌2008年6月の地理空間学会設立に合わせて刊行された創刊号である。今回，賞をいただいた本と同じタイトルの「アホウドリと「帝国」日本の拡大」という論文であった。

実はこのテーマは，長年温め続けてきた研究テーマであった。というのも，「アホウドリの捕獲という日本人の欲求によって，「帝国」日本の領土が拡大した」という話は



余りに突拍子もなく、十分な実証がなければ一笑されるだけだと考えていた。

2005 年秋に九大で開催された人文地理学会大会の特別発表で報告はしていたものの、この『地理空間』誌創刊号でペーパーにし、やっと全容が明らかとなった。特別発表までしているので、まさか盗用されることはないだろうと考えていたが甘かった。

歴史学の若い人がこの論文に注目し、それから 3 年後、日本史関連では最大手の出版社 Y 社から、選書という形で私のテーマと似たような本を出版した。

盗用まではいかないが、その内容は私の論文を要約して、文中に私の名前の注を入れるという手の込んだ方法を使い、「はじめに」には、私の名前まで挙げられていた。

要するに、他人の研究成果を要約し、注を入れているから盗用にはならないと開き直った、きわめて悪質な手法であった。この本は誰の本かとまで思った。

刊行元である Y 出版社に抗議の電話を入れると、若い編集者が対応し、何のことかわからず、この本の中には平岡という名の注が至る所に入っていると言うと、若い編集者は、「そうですね。先生の本のようですね」と同意した。

人の研究をまとめて自分の本として刊行するとは、道義的にもおかしいのは明らかであったが、この出版社からは「注を挙げてあるから問題はないようです」と回答があった。この出版社はきちんと原稿を見ていないと感じた。それから、私の負けじ魂に火がつき、この状況を逆転するには研究書を刊行する以外に方法はないと考え 8 ヶ月間で原稿をまとめた。

出版社の候補は、まず問題の本を刊行した Y 社と狙いを定め、目次、要約を送付した。半沢直樹の倍返しではないが。

すると驚いたことに、その Y 社は「受ける」という回答であった。目次と要約だけで原稿の内容を見ないで受けるとは、ここに他人の研究を簡単に要約した本を、出版するという問題の本質があるように思われる。出版社はきちんと原稿の内容を把握していない。

だが、実際、私が Y 社に完成原稿を送付すると、300 ページを超えることがわかり、今度は 50 ページ分を削げと言う。原稿を見ずに OK を出しておきながら、実に勝手なものである。

今度は私のほうから断り、急きょ出版社を明石書店に変更して刊行した。その後、紀伊国屋の書評空間、さらに読売新聞、朝日新聞、沖縄タイムスなど 20 を超える新聞や雑誌が書評を載せた。Y 社にも半返しは出来たと思うが、あともう半返しが残っており現在進行中である。

翌 2013 年 6 月に思いがけなく地理空間学会賞をいただき、続いて 11 月に人文地理学会賞、今年 3 月には日本地理学会賞とトリプル受賞したが、論文執筆からの経緯もあり、最初の地理空間学会の賞が、私にとって一番うれしく感慨深いものがあり、生涯の記念となる。

これも、ある秋の日の夕方、山下先生とのバスでの偶然の出会い、熊本の場末の居酒屋からすべてが始まったのである。

最後に地理空間学会の今後のますますの発展を祈念するとともに、この受賞に対して深く感謝を申し上げたい。

## 学会からのお知らせ

### ＜事務局からのお知らせ＞

2014 年 6 月に会員名簿の発行を予定しております。

## <会計委員会からのお知らせ>

### 1. 会費納入のお願い

2014 年度会費は、6 月 28 日の地理空間学会大会受付にてお支払いください。もしくは 6 月 20 日発刊予定の「地理空間」第 7 巻 1 号に同封いたします振込用紙でお支払いください。

多くの方々から会費の納入をいただいておりますが、若干名、過年度の会費納入がお済みでない方もいらっしゃいます。未納の方は、「地理空間」第 6 巻 2 号に同封した振込用紙でお支払ください。納付したか不明な方や振込用紙をご希望の方は、事務局までお問い合わせください。大学を通じて電子振込みをされる場合には、必ず氏名と所属先の明記をお願いいたします。

〔年会費の振込先〕

(ア) ゆうちょ銀行への振込（ゆうちょ銀行の振込用紙を使用）

口座記号：00120-5                      口座番号：779957

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名：ゆうちょ銀行              金融機関コード：9900

店番：019      店名：〇ー九店（セ）ロイチキュウテン）

預金種目：当座                      口座番号：0779957

受取人名：チリクウカンカ” ツカイ

(ウ) 年会費

一般会員 4,000 円    大学院生会費 2,000 円

学生会費 1,000 円

### 2. 「地理空間学会学術基金」の募金について

「地理空間学会学術基金」の募金活動について、会員の皆さまの一層のご理解とご援助を賜りますようお願い申し上げます。

〔地理空間学会学術基金の内容〕

○名      称：地理空間学会学術基金

○目      的：地理学の優れた研究者を育成することを目的として、その研究活動の充実を図るための資金として活用する。

○募集対象：本学会の活動理念を理解し、本寄付の趣旨にご賛同いただける方。

○ご依頼額：1 口 2 万円（何口でも可能です）

〔振込方法〕

(ア) ゆうちょ銀行への振込（ゆうちょ銀行の振込用紙を使用）

口座記号：00150-3                      口座番号：707452

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名：ゆうちょ銀行              金融機関コード：9900

店番：019      店名：〇ー九店（セ）ロイチキュウテン）

預金種目：当座                      口座番号：0707452

受取人名：チリクウカンカ” ツカイカ” クシ” ユツキキン

※ 基金への寄付をいただいた方のお名前は、機関誌「地理空間」やホームページ等に掲載させていただきます。お名前の掲載をご希望でない方は、「匿名希望」とご記入ください。不明な点は、事務局までお問い合わせください。

## <編集委員会からのお知らせ>

### 1. 次号以降の投稿について

第 7 巻 1 号は、2014 年 6 月 20 日の発行を予定しております。原稿は随時受け付けており、査読を経て受理された論文から順次掲載して参ります。内容は最新の論争から時事性、トピック性の高いテーマ、丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員の皆様の活発な投稿をお待ちしております。投稿規定や執筆要

領については、地理空間学会ホームページをご覧ください。

### 2. 定期購読のお願い

本学会の活動を知っていただくため、会員の皆さまの研究室や大学・高校の図書館等での「地理空間」の定期購読をご検討いただけますようお願い申し上げます。ご購読いただける場合には、学会事務局までお知らせください。

### 3. 「地理空間」掲載論文のリポジトリ等への掲載について

掲載誌が刊行されてから半年を経過した場合には、大学

等の学術リポジトリや著者本人のホームページ等へ自著の論文の掲載を認めます。掲載論文の電子ファイルが必要な方は、学会事務局までご連絡ください。

## コラム「学会会場のまち・新座市」

橋爪孝介（筑波大・院生）

第7回大会の会場となる立教大学新座キャンパスの所在する新座市は、埼玉県最南端に位置する市であり、南側を東京都と接しています（第1図）。面積22.80km<sup>2</sup>の市域の大半は、柳瀬川と黒目川に挟まれた野火止台地であり、関東ローム層に覆われています。川沿いの沖積低地では、縄文時代の住居跡が見つかっています。野火止台地では江戸時代に川越藩主の松平信綱が玉川上水から分水して野火止用水を整備したことで、新田集落が開拓されました。野火止用水の開削から高度経済成長期まで、東京近郊の農業地帯として蔬菜栽培が盛んな地域でしたが、関越自動車道・川越街道（国道254号線）・東武東上線・西武池袋線・JR武蔵野線の通過する交通至便の地であったことから、農地や雑木林が開発され、工場の進出と住宅地の造成が相次ぎました。1960年からの10年間に人口は5.4倍という埼玉県最大の伸びを示し、1970年11月1日に新座町は市制を施行しました。2014年5月現在の人口は162,606人であり、新座町発足時から約13倍に増加しています。人口の増加とともに学校も増え、現在では高等学校5校と大学3校を擁する文教都市としての性格も持ち合わせています。なお市名の「新座」は、1955年に大和田町と片山村が合併する際に、かつて新座郡に所在していたことにちなんで名付けられました。

農業に注目すると、2010年現在田は15aにすぎず、経営耕地面積の84%を畑が占めています（写真1）。主要栽培作物は埼玉県下第3位の生産量を誇るニンジンであり、ホウレンソウ・サトイモ・ナスを栽培する農家も多くなっています。東京近郊という立地を生かして、観光ブドウ園や直売所、滞在型市民農園などを展開する農家もみられます。工業では、印刷・同関連業が従業者数・製造品出荷額



第1図 新座市とその周辺



写真1 都市近郊野菜の栽培の様子

等とともに市全体の約半数を占めており、関連するパルプ・紙・紙加工品製造業や出版社の物流倉庫も多く立地しています（写真2）。観光では、市の発展の礎となった野火止用水沿いを散策するコースが整備され（1ページ参照）、先述の観光農園のほか、松平信綱の墓や国の天然記念物に指定された境内林を有する平林寺があります。

新座市は「鉄腕アトム」の街」という側面もあります。鉄腕アトムの作者である手塚治虫は武蔵野の面影を残す新座市の雑木林を愛し、市内に手塚プロダクションのスタジオを設けました（写真3）。このことから、作中でアトムが誕生する2003年に「特別住民票」を発行したのを皮切



写真2 出版社の物流倉庫

りに、野火止用水沿いの観光案内にアトムのイラストを採用したり、JR 武蔵野線新座駅の発車ベルを鉄腕アトムのテーマソングにしたり、「アトム通貨」という地域通貨を発行するなど、鉄腕アトムを活用した地域振興が図られています。



写真3 手塚プロダクション

※写真はすべて2014年6月、橋爪孝介撮影です。

※今号ではコラム「私のフィールドから」はお休みさせていただきました。

#### 編集後記

ご案内のように、地理空間学会の第7回大会を、立教大学新座キャンパスで開催いたします。また川越市にて巡検を実施いたします。皆さまどうぞ奮ってご参加ください。

ニュースレターでは学会に関連した情報を適宜掲載していきますので、掲載すべき情報やご要望がございましたら、事務局までお寄せください。最新の情報は学会ホームページで随時更新しております。本会では、会員間の情報交換の手段として、メーリングリスト（[jags-ml@geoenv.tsukuba.ac.jp](mailto:jags-ml@geoenv.tsukuba.ac.jp)）を開設しております。すでに多くの方にご参加いただいておりますが、まだ登録されていない方でメールアドレスをお持ちの方は、ぜひご参加ください。

## 地理空間学会ニュースレター 第19号

発行日：2014年6月12日

発行所：地理空間学会事務局

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学生命環境系地球環境科学専攻内 地理空間学会事務局

TEL/FAX 029-853-6873

E-Mail [geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp](mailto:geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp)

URL <http://jags.ne.jp/>